



政府統計

## 2019年工業統計調査を実施します



工業統計キャラクター・コワちゃん

- 2019年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、6月1日時点で実施します。
- 工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

◇問い合わせ 地域活性課 ☎内線117・198

### 消費生活 相談室

# 『アポ電』にご注意！

役場や警察、消防署などの公的機関や、金融機関、実在する企業名などをかたり、住所や年齢、家族構成や在宅時間、利用している金融機関や資産状況などを言葉巧みに聞き出したり、所在を確認しようとする不審な電話いわゆる『アポ電』に関する相談が寄せられ、国民生活センターからも注意が呼びかけられています。不審な電話は、財産的被害のきっかけとなるだけでなく、凶悪事件の発生にもつながっています。知らない番号からの電話には、くれぐれも慎重に対応しましょう。

#### 【不審電話の例】

##### ●役場の職員を名乗って

「還付金がある。手続きをするので取引銀行と口座番号を教えてください。」

「還付対象者になるかどうかの判断基準として」

「口座残高が50万円以上か確認したい。」

##### ●警察官を名乗って

「犯人を捕まえたら、あなた名義のキャッシュカードがあった。残高はいくらありますか。」

「証拠品としてカードを預かりたい。」

##### ●金融機関の職員を名乗って

「キャッシュカードを交換する必要があるので預かりたい。」

「暗証番号を教えてください。」

##### ●消防署の職員を名乗って

「災害時にすぐに救助できるように、一人暮らしか確認をしている。」

##### ●百貨店店員・家電量販店店員を名乗って

「あなた名義のクレジットカードが不正に使われている。」

#### 【アドバイス】

☆知らない番号からの電話に出るのは慎重に。

☆着信番号通知機能や電話番号登録機能、留守番電話機能などの録音機能を活用しましょう。

☆家族構成や資産状況を聞かれたらすぐに電話を切りましょう。

☆何かおかしいと感じたら、話を聞かずに電話を切って、家族や周囲の人、警察や消費生活相談窓口にご相談しましょう。

##### ●警察相談専用電話

「#9110」

##### ●消費者ホットライン

「188」(局番なし)

午前10時～午後4時

